

# けやきコミュニティニュース

第117号（通算141号）

2015年6月10日発行

けやきコミュニティ協議会



今年のニュースのテーマは…?

「日常のつながりが  
地域を変える」



## もくじ

- P 2 …… 第31回 住民総会報告 / 活動方針
  - P 3 …… イベント報告 / けやきまちづくり局
  - P 4 …… 特集 その1 集団回収をきっかけに地域デビュー
  - P 5 …… その2 けやきコミュニティニュースの配布
  - P 6 …… 運営委員のつぶやき / まちづくりフェスタのお知らせ
- けやきコミセンをご利用ください！

## 第31回住民総会

2015年4月18日(土)

けやきコミセンの新年度は、武蔵野市立第四中学校 P T A コーラスの素敵な歌声とともに始まりました。18名の有志のメンバーが「春風の中で」「聞こえる」の2曲を披露してくださいました。

第四中学校 P T A コーラスは新たなメンバーを迎え、11月23日(祝・月)には武蔵野文化会館にて、「P T A コーラスのつどい(仮称)」に参加する予定です。

「P T A コーラスのつどい」は今年度50周年にあたり、市内小中学校 P T A コーラスのメンバーが楽しい演出を企画しているようです。



2014年度活動報告・会計報告・監査報告・2015年度活動方針・予算・運営委員が承認されました。

### ご挨拶

代表 寺島芙美子

住民総会も無事終了し、55名の運営委員とともに平成27年度がスタートしました。

コミセンが開館して25年、地域の皆様に支えられ、大きな事故も無く歩み続けて来ることができました。物質的豊かさはあっても、人との繋がりが希薄になり、人を思いやる心が薄れてきた等と言われていた中で、コミセン開館以来、温かな関係を作るべく、人と人を繋げることに努力してきました。お陰様で知合いが増え、まちで挨拶することも多くなり、このまちの人間関係も変わってきたように思えます。

3月11日の大震災以来、災害時の助け合いや、緩やかな繋がりを求める声が更に大きくなって来ました。コミセンが果たす役割は何かを考えながら、今後もより開かれた、誰もが参加しやすい運営を心掛けていくつもりです。

また、この地域が住み良いまち、住み続けたいまちになるようコミセンだけでなく、地域の諸団体と連携を取りながら、地域の課題、問題を議論し、解決に向けての話し合いの場づくりを進めていきたいと思えます。

### けやきコミュニティセンターは

武蔵野市のコミュニティ条例の自主三原則「市民の自主参加・自主企画・自主運営」を基本原則に市民がまちづくり・コミュニティづくりをすすめるための施設です。市民のボランティアによってけやきコミュニティ協議会が運営しています。

### 今年度の運営委員は下記の通り承認されました。

★吉祥寺北町3 遠藤香代 小林美菜 関律子  
中澤幸子 高石優 高石加奈子 高田昭彦  
田中千恵子 博田美智 古谷哲夫 山本清子  
渡辺純夫 渡部誠子 渡部正子

★吉祥寺北町4 宇田川みち子 菅野耕三  
郡司高直 杉本晃子 寺島芙美子 富秀子  
中村かおり 西山多恵子 長谷川芳子

★吉祥寺北町5 足立春江 新井真紀  
安藤頌子 飯田美雪 今川建夫 内田道行  
香取尚子 小河内順子 佐藤みな子  
島森和子 清水範男 高橋優子 高橋豊  
長瀬道子 中村英子 藤江聡子 前田栄治  
村井智子 吉川裕子 吉松杉子

★市内 出井佳子 金子ゆたかこ  
諏訪泰代 千綿澄子 花山サト子 深野譲治  
山井恵子

★市外 石川博一 風間佑蔵 草場純  
瀧澤友朗 土田芳枝 (55名)

★協力員は131名の方にご登録いただきました。

### 2015年度 活動方針

“けやき”のみどり豊かなこのまちを新しいふるさととして愛し、

みんなで仲良くまちづくりをすすめます。

<けやき憲章>



☆誰もが立ち寄りたくなるまちづくりの拠点としてのセンターを目指します。

☆けやきのよさを継承しながら、夢のある充実したまちづくりをめざしコミュニティの諸活動をすすめます。



## \*文化企画\* 春風に乗って

### 「コラン」ライブ

3月29日(日) 14時 約70名参加 \*COLIN\*  
音楽を囲んでのステキな時間をありがとう  
ございました。



#### 参加者から

開演前の会場は楽しそうに談笑する人で満席状態。ワクワクする。コラン登場。ギターが軽妙なりズムを刻み始めるとアコーディオンがおしゃれに歌い始め、ゆるやかに会場はパリの街角になった。

息の合った兄妹の楽しいおしゃべりと演奏、休憩ではワインも振舞われ気分は最高。後半は素敵な歌声も加わり、最後はみんなで「オーシャンゼリゼ」。にわかパリジェンヌ?を楽しみました。企画・運営の皆様本当にありがとうございました。(Y. I.)

## \*コミセンスタンプラリー\*

3月21日(日)~28日(日)

好評のつるし雛やまちづくり局で作成したアロマキャンドル、けやきができるまでの貴重な写真等をギャラリーで展示し、地域の皆様をお迎えました。16コミセン達成賞の他に、グループ達成賞も加わり、644名の皆様が参加して下さいました。

#### 参加者から

「子どもが毎回楽しみにしています」「普段行かないコミセンに行くきっかけになりました」「大きなおうちの様な雰囲気のぬくもりが良かったです」など

## \*けやきまつり\*

今年も大盛況でした!

5月17日(日)

すっきり晴れた青空のもと、大勢の来場者の皆様とにぎやかにお祭りを行いました。

#### 参加者から

武蔵野市に住んで6年、けやきまつりにはずっと子ども達を連れて来ていましたがその子ども達も大きくなってお友達と連れ立って遊びに行くようになりました。

石窯で焼く手作りピザ、大野田の先生方が腕を振るって下さる焼きそば、他にもけやきまつりの屋台はどれもこれも美味しいのにリーズナブルです。地域の大人の目も沢山あって、子ども達だけでも安心して遊べる、けやきまつりはとてもありがたいおまつりだと思います。

私は昨年から友人、長女と一緒にフリーマーケットに出店させて頂いています。品物が売れても売れなくても、焼き団子を頬張りピザを食べながら、おまつりの雰囲気を満喫する事が出来ました。

運営スタッフの方々、どうも有難うございました。来年のけやきまつりも楽しみにしています。(H. T.)

# けやきまちづくり局

人と人が出会い、仲良く楽しいまちづくりを目指して様々な分野で11チームが活動しています。興味のあるところに、参加できません。年間を通して楽しい企画満載です。

## チーム紹介

### その2



## アートくらぶ

身近な文化を楽しみましょう。美術館・映画鑑賞・ギャラリー展示・など今年も盛りだくさん。市報やチラシでお知らせしますのでふるってご参加下さい。

## ナイトウォーク

まちのパトロールと健康づくりのウォーキング。1時間位のコースを歩きます。毎月第1、3火曜日の夜8時けやきスタートです。

いつからでもOK! さあ始めよう!

## からだほぐしとお食事の会

隔月第3金曜日に開催しています。ダンベル体操とおいしいランチの後はお楽しみ会。花をめでながらの散策や、針を動かしたり筆を持ったり。時にはゲームなどで盛り上がります。年齢は不問 参加費用は500円です。窓口にお申込みください。

そのほか、風と歩こう、けやきガーデンズ、よみきかせ紙ふうせん、けやき塾、けやき茶社、あそび隊、ぱそこん倶楽部、囲碁のつどいがあり順に紹介します。

会場の都合で人数に制限がある場合もありますので窓口にお問い合わせください。

今年のテーマを考えるため、地域の拠点としてコミセンが目指してきたこと、これからコミセンはどうあったらよいかを話し合いました。でもね！顔見知りが増え挨拶できる人のつながり、日常のつながりが一番大事なのではないか！そこに焦点を当てて特集します。

## \*その1 集団回収をきっかけに地域デビュー



けやきコミセンの資源ゴミの回収に来て下さる野嶋さんにお話を伺いました。

今でこそこんなに地域の色々な活動をされている野嶋さんでも、現役でお仕事をされている時代は、朝早くから夜遅くまで西東京市で働いて、ほぼ夜間市民だったそうです。

そんな野嶋さんが集団回収を始めて気が付いたことは、「コミュニティ作りはまず近所の人と知り合うこと、顔を合わせて井戸端会議や話ができるようになること、もう少し集団回収が進化すればお年寄りが増えて旗当番ができないからとやめる人がでてくるでしょ？若い人がおうちの前から旗のところまで運んであげたり、日常的な助け合いが、やろうと思うと出来る事業だから、そういう方向に心がけて欲しい」

「地域は変わったと思いますか？」と質問してみましたら、野嶋さんの答えは「私はコミセンや福祉の会、ひびのさんちでも変えて貰った。色々なところで私を変えさせられたんじゃないのかな？自分自身が変わったことによって、どんどん地域とつながっていき地域が変わったと感じているのかもしれないね。」男の人が地域となじむのはなかなか難しいことのようにです。野嶋さんは集団回収を通じて地域に溶け込むきっかけになったと思います。地域で開催するお祭やイベントのお手伝いだけだとその日だけ一緒にお仕事をするので、なかなかつながってはいけません。しかし集団回収のように日常的にずっと続けている事業は上手くつながっていくのでしょうか。このような事業は他にはあまりないです。

「仕事を一緒にやるということは、お互いを理解出来ること」「地域の中にそういう人がいるということは心強いこと」これだけ狭い地域の中で仲間ができるというのは凄いことです。日常の活動（つながり）が地域を変えるという一つの証拠になっていますね。

### 野嶋盛次郎さんから、ひとこと 集団回収で「みんな仲良く、安心して暮らせるまちづくり」

北町5丁目を中心とした住民による集団回収は、30数年前、クリーンセンター建設用地選定をめぐる運動の中から生まれました。その後につながる、けやきコミセンづくり・大野田福祉の会結成へと、住民主体のまちづくり活動が、活発化する流れの中で、集団回収も一役買えないかと考えるようになりました。それは20年前の阪神淡路大震災の教訓で、決定的になりました。集団回収事業は、日常、ご近所同士知り合い協力し、支えあう貴重な事業だと確信し、会員拡大を訴えたところ、3丁目・4丁目に大きく広がりました。でも、未だ参加されない横丁・集合住宅も見受けられます。「みんなで仲良く・安心して暮らせるまちづくり」のために、集団回収への参加・新しい団体立ち上げに取りくんでください。ご連絡くださればお手伝いします！

### 第44回むさしのジャンボリー

～指導者実地踏査にいつてきました。～

毎年夏の恒例行事「むさしのジャンボリー」の本番の前に各青少協から三人の指導員が実踏に参加します。実踏はまるでジャンボリーの予行演習のように、朝7時に三鷹駅からバスで出発して一般道路から高速道路に入るまでをチェックして、トイレ休憩所になるSAに実際に止まって場所も確認しました。川上村の「武蔵野市立自然の村」に到着して休憩もせずすぐにキャビン内の様子を見て回りました。中央棟のホール（食堂）で用意して頂いた美味しいカレーを食べ終わりホッとしたのもつかの間・・・ハイキングのコースの下見チームに分かれて色々なコースを入念にチェックして歩きました。今回初めて実踏に参加してみて、本番のジャンボリーを無事に開催する為に市役所の職員の方々や各地区の指導員の皆さんの地道な裏方の確認作業があつてこそ本番を迎える事が出来ているのだと強く感じました。そして他の地区の参加された皆さんからのご意見や経験談も聞くことが出来て充実した（足はパンパンですが）二日間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。（Y・T）

\*むさしのジャンボリーは、地域の大人が指導員となり、中高生のサブリーダーと共に小学校4～6年生と2泊3日野外生活を体験します。

## \*その2 けやきコミュニティニュースの配布 の場合



現在北町3丁目西側と4丁目・5丁目全域で配布（年4回発行）されるけやきコミュニティニュースですが、けやきコミセン建設準備の段階では「中央北（大野田学区）コミュニティセンター情報」として、当初は1300枚発行（1982.6.14.）され、建設準備会に集まった人たちが手分けしてご近所の家に配って歩く・・・というものでした。けやきコミュニティ協議会発足（1984.11.18.）を受けて同年12月に「けやきコミュニティニュース」としての第1号が発行されました。今では運営委員・協力員を含めて約83名の人たちによって全地域3800部配られています。

今回「地域のつながり」というテーマからコミセンニュースの配布協力の話題が及び…30年以上配布を続けてくださる野津睦子さんに、配布に関わる日頃のご意見を聞きました。

「コミセンがほしいね…という頃から配布のお手伝いを始めた…」という野津さんは、長年けやきのコミュニティ活動に関わり、一時は事務局長として運営委員会の中核を担うなどされましたが、「体調を崩したのをきっかけに今は配布だけ、けやきのお知らせが大事だとわかっているから、いつまでに配るか、何が書いてあるかを気にしています。配っている人は皆さんそうでしょうが、配る前に隅から隅まで読ませてもらっています。こういう内容のものをポストに入れている…という意識を持って配らせてもらっています」とのこと、広報部員としては有り難くも緊張。「利用者との関係」「地域への目配り」…などに関する具体的なおはなしに「なるほど」と、問題意識を持ち複眼で考える大切さを改めて感じる機会になりました。

### 野津睦子さんから、ひとこと

けやきの運営から離れて十数年、思いがけず「コミュニティルーム」でおしゃべりをする機会を得ました。ゆったりと大きなテーブル、ガラス窓越しに眺める景色、昔と変わらず時は流れます。散歩のときおせんべいを二、三枚もってコミュニティルームで百円コーヒーを頼み、一休み。ひょっとして知った人に会えるかもしれません。楽しみが一つ増えました。

（\*コーヒーは現在50円に値下げしています。）

## 地域の大人の出番です！！

### 行って帰ってジャンボリー

大滝 玲子

ジャンボリーが終わってバスから降りてくる、子ども達の顔。3日前の不安と期待の入り混じった顔とはちがい、日焼けして、たくましくなったような気がします。でも、行きと帰りの表情の違いと言ったら、大人の顔の方が断然わかりやすい。まず、子どもたちを見る目が違います。一緒に3日間を過ごして、まるで家族のようです。きっとジャンボリーが終わってからも街で顔を合わせることがあれば「やあ！」と声かけることでしょう。指導員として参加した、大人同士も同じです。こちらは「疲れた～！」と言いながらも、まるで学生時代に戻ったかのような気安い間柄になったようです。

同じ体験を通して人と人がつながりました。ジャンボリーの3日間ではわからない、大きな良さがここに 있습니다。では、3日間そのものの良さは？

「そりゃ～、行けばわかりますって！」



太陽の広場と屋根岩



ダケカンバの巨木の近くにある大岩

## 新運営委員のつぶやき

「新人研修を受けて」編

今年度運営委員に新しく9人が仲間入りしました。研修を受けた3人に感想をつぶやいていただきました。

以前から、けやきコミセンは勢いのあるイベントを次々展開できるのはなぜ…?とと思っていましたが、運営委員の皆様が大切にしている「けやきの精神」を説明していただき、そのヒミツがわかりました。「新しいものへのチャレンジを大切に」「新しいことに対する好奇心を」等、いつも新しい風を歓迎する姿勢、「みんなが自分の頭で考えてみる」「えらい人はつくりたくない」等、個人を大切にする優しさを兼ね備えているからなのですね。 K.E



### けやきコミセンをご利用ください!

地域のことをもっと知りたい方、お友達作りをしたい方、赤ちゃん連れの方、おしゃべりしたい方……

コミセンには掲示板やチラシや口コミで情報がたくさんあります。

**コミセン親子ひろば** 第1木曜日 10時から11時半子どもルームには赤ちゃん連れの方たちが楽しく集っています。

まちづくり局のイベントはさまざまな分野に広がっています。おまつりはスタッフで参加すると楽しさ倍増ですよ。

コミュニティルームでコーヒータイムはいかが?なんと5月からけやきコーヒーを50円に値下げしました。一人でも多くの方にけやきに足を運んで頂きたくて、窓口で心をこめてご用意しています。あたたかい麦茶は無料です。

こうだったらもっといいな~こんなことができたらいいな~ご意見・アイデアを窓口にお知らせください。

つながりが生まれる予感!ヒントがけやきコミセンにあるかもしれません。どうぞ探しにきてください

けやきコミセンの歴史や精神を聞いて、ちゃんとした人になれるようにがんばらなくてはいけないと改めて思いました。いままで生きてこられたのもまわりの人達のおかげで、本当に私は運がいい幸せ者だと感じました。恩返しをしつつ成長したいと思います。 K.N

- 普段子供達が楽しく遊びに行く場所、よくお祭りをやっている場所、そんなイメージでしかなかったけやきコミセンでした。今年から運営委員にお誘い頂きまして、裏でこんなにも多くの方々が細かいところに心を配り運営されていたことを知りました。けやきまつりでは、皆さんのパワフルさに圧倒されました。本当にみなさんお元気です! 少しずつですが、お役に立てればと思っております。 S.F

Check

### まちづくりフェスタ決定!

7/22(水) デコパージュと白玉ぜんざい  
13:30~15:00 まちづくり局への一歩!  
詳細は市報7月15日号をご覧ください。

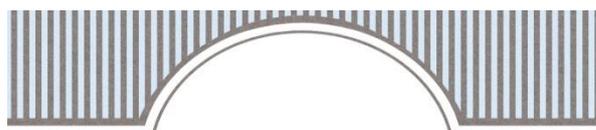
### ムーバスの運行時間が延長されました。

(5月1日より吉祥寺北西循環の実証運行中です)

コミセンから吉祥寺駅までの便は最終20:34、

けやき並木行なら21:14が最終です。

詳細は掲示板でご確認ください。



### けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町5-6-19

Tel&Fax 0422-54-8719

ホームページ <http://keyaki-c.com/>

空き部屋状況がホームページで確認できます。

開館時間 9:30~21:30

(休館 水曜日)

子どもの利用時間 (子どもだけの場合)

	小学生以下	中学生
4月~9月	6時まで	7時まで
10月~3月	5時まで	6時まで

★AED・防災無線を設置しています★

編集後記\*ニュースは今年度、9名で頑張ります。

まちの情報お待ちしております。(N)